

中山間地域に合った社会福祉の障害者サービスの提供を進めていきたいと考えているわけですが、さらに一步進んだ対応が必要ではないかと思っています。高齢者サービス、子育て支援、若者、障害者の皆様へのサポートが1カ所で全部できるような拠点を作れないか、小規模ですが多機能な施設を作れないか、それぞれのサービスを一緒にしているので利用者数もある程度集まり、全体として運営が成り立つのではないかと「あったかふれあいセンター」を作ろうと考えています。「あったかふれあいセンター」は、平成21年度に30カ所、平成22年度以降は26市町村33カ所で実施していこうと予定しています。

「あったかふれあいセンター」の取り組み例として、四万十町大正では障害者の地域活動支援センターに併設する形で新たな提供サービスとして就労支援、生活訓練、移動・外出支援、ボランティア研修、入浴サービス、さらにお子さんの預かりをこの1カ所のセンターで実施しようとしています。近くには小学校もあり、高齢者の皆様方と共に子どもたちが一緒に遊んでいます。また、沖ノ島で10月から1カ所で託児所機能、宅老所機能、障害者支援機能、雇用の創出、就労支援機能をやっけいこうとしています。沖ノ島の新生児は3、4人と少なく、保育園も閉鎖をしている状況でした。しかし、「あったかふれあいセンター」を開設することで、ここを保育園としても活用できることになりました。また、香南市では高齢者のデイサービスセンターに併設する形で子育て支援、子どもの預かり機能を拡充していく例があります。中山間地域では、当初予定していたよりも非常にニーズが高かったため、今後ともこういう取り組みを県内全体に広めたいと考えています。